

Study Guide 2013 For Global Leaders

CONTENTS 目次

Introduction

- はじめに

Alumna Interview

- 卒業生訪問／原聡子さん
(日本テレビ・キャスター)

For Global Leaders

グローバル女性リーダーになるために

- 【その1】 語学力を武器に世界へ
- 【その2】 入学から卒業までの体系的な語学プログラム
- 【その3】 交換留学、短期語学研修、私費留学 etc.
- 【その4】 国際的な「武者修行」の機会も豊富にある！
- 【サポート体制】 大学が強力にバックアップ

女性の力を、 もっと世界に。



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

グローバル女性リーダーが未来を創る

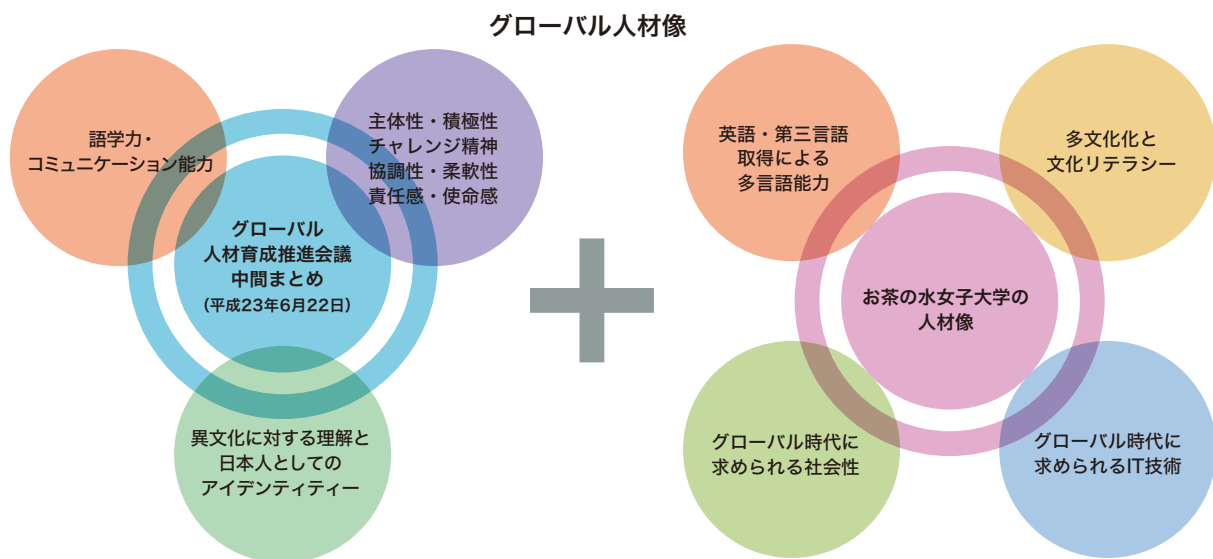
高度に発達した技術やシステムを背景として、急速にグローバル化が進展してきました。政治・経済のみならず、すべてが国を越えて流動する時代を迎えており、地球規模の視野と行動力が不可欠になってきたといえるでしょう。

お茶の水女子大学は、1875年(明治8年)に東京女子師範学校として創設以来、様々な分野で活躍する女性リーダーを育成・輩出してきました。この実績を踏まえた新たな展開として「グローバル女性リーダー」の育成に取り組んでおり、2012年には文部科学省「グローバル人材育成推進事業」にも採択されました。

本学が目指す「グローバル女性リーダー」とは、政府の「グローバル人材育成推進会議まとめ」における3つの要素に加えて、これをさらに一歩進めた下記の4つの要素を目標としています。

現代における女性の役割はかつてとは比較にならないほど多様化していますが、それが地球規模の広がりを持つようになってきたといえるかもしれません。本学が目指す「グローバル女性リーダー」は、そうした状況の中で、様々な意味での新しいロールモデルとなることが期待されているのです。そのためにも、語学の習得は必須要件であり、留学など国際交流への積極的な参加が求められています。

1人でも多くのお茶大生が国際的な知性と行動力を身に付けること。お茶の水女子大学は、そのためのお手伝いを惜しむことは決してありません。それによって大きく成長したグローバル女性リーダーが、より良い未来を創ると信じているからです。



*グローバル人材育成推進事業の詳細については、こちらのホームページをご参照ください。
<http://www.ocha.ac.jp/intl/ocgl/index.html>

学部中にイギリス、
卒業後にアメリカに留学
「世界中に友達ができ、どこへでも
やっついていける柔軟性も身に付きました」

Profile

1976年、山口県生まれ。お茶の水女子大学文教育学部人文科学科地理学教室を卒業後、アメリカ・ハーバード大学大学院に留学して東アジア研究科安全保障学専攻修士課程を修了。2002年、日本テレビ入社。報道記者・ニュースキャスターとして活躍。現在の出演番組は『Going! Sports & News』『真相報道 パンキシャ!』。

Ms. HARA, Satoko

原 聡子 さん

(日本テレビ・キャスター)

Alumna Interview

卒業生訪問



報道記者やニュースキャスターとして活躍している原聡子さんは、お茶の水女子大学の卒業生であり、在学中と卒業後に2回の留学を経験。「世界中に友達ができました。また多様な価値観に触れ、共に競い合ったことで、どの国で誰とどんな仕事をしようと、やっていける柔軟性も身に付いたように思います」と話してくれました。

湾岸戦争のテレビ報道で記者に憧れ

出身は山口県。米軍・岩国基地が近くにあり、海兵隊の方に英語を教わったりして、軍隊や英語が身近にある環境で育ちました。中学生の時に湾岸戦争がぼっ発。毎日かじりついて見たテレビで、現場から生の情報を伝える報道記者に憧れ、「将来は戦争取材できる報道記者になりたい」と思いました。

お茶の水女子大学では、地理学を専攻。大学2年終了後にイギリスのオックス

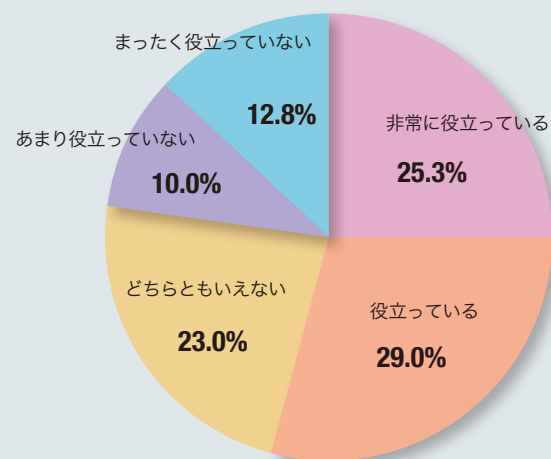
フォード大学マンスフィールドカレッジに留学しました。「チュートリアル」と呼ばれる教授とのマンツーマンの授業でみっちり議論したり、世界中から来た同級生たちと語り合ったり、多くを学んだ1年間でした。

お茶大に戻ると、周りは就職活動に向け動いていましたが、もっと世界を知りたいという思いが強く海外の大学院への進学を選びました。研究を続けたかった安全保障分野に強いハーバード大学大学院東アジア研究科に進学。サミュエル・ハンティントン教授やスタンレー・ホフマン教授など、この分野をリードする権威の教えを受けられたのは素晴らしい経験でした。同級生も、各国の軍将校や外交官など現場経験を持つ学生が多く刺激になりました。

勉学に励む一方で、イギリスで始めたボートをアメリカでも続けました。8人乗りの「エイト」と呼ばれるもので、シーズン中は毎朝、授業の前にチャールズ川で練習しました。勉強との両立は大変！ ある日、博士課程の年配の学生2人が「疲れた……」というメールを残し練習に来なくなり、慌ててメンバーを捜したことは良い思い出です。

留学は、今の仕事などに役立っていると思いますか

「非常に役立っている」と「役立っている」を合わせると過半数に達する。特に評価が高いのは学位・資格取得者や比較的長期の留学経験者という。



※日本学生支援機構「海外留学経験者の追跡調査(平成23年度)結果の概要」より

Ms. HARA, Satoko

原 聡子^{さん}

Alumna Interview

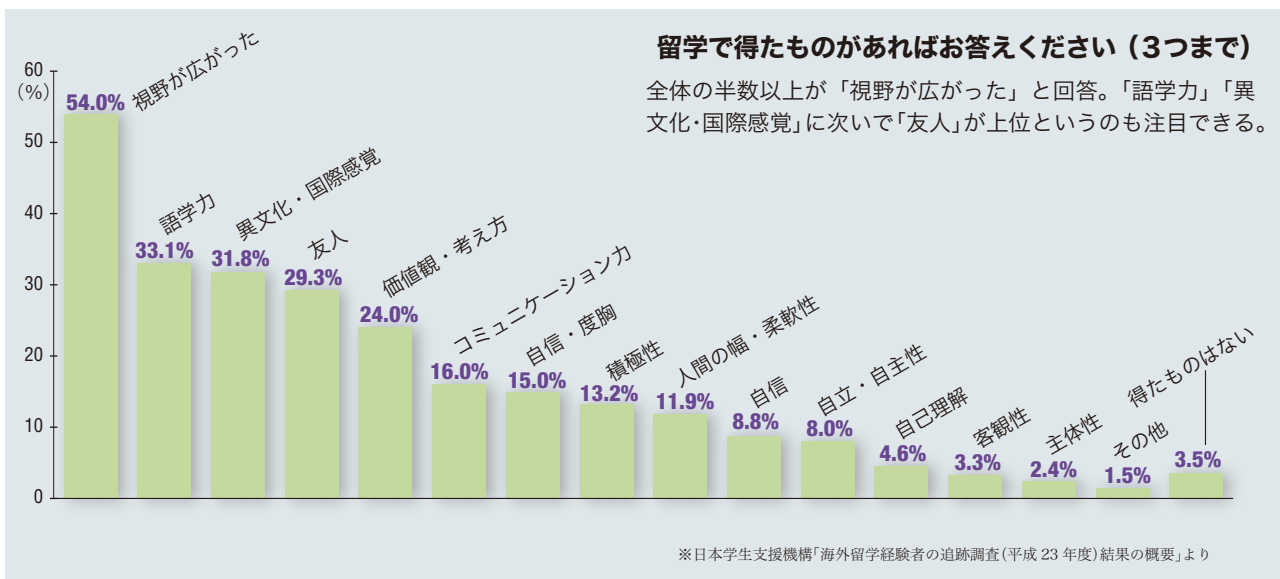
留学時代のネットワークで アメリカの大物議員の取材が実現

留学で得られたものの一つは、世界に広がる人脈。同級生には、BBCやフィナンシャル・タイムズの記者といった同業者からホワイトハウスの外交アドバイザー、中国で起業し成功したビジネスマンもいます。世界中で活躍する同級生の存在は誇りですし、いつも刺激を受けています。彼らを通じアメリカの雑誌に執筆する機会をもらったり、共和党の大物議員のインタビューができたりと、今でも助けられていますよ。

また、海外に出たことで一気に視野が広がりました。様々な価値観と触れ合い、共に競い合ったことで、どの国に住んで誰と

どんな仕事をしようと、やっていける柔軟性も身に付いたように思います。実際、留学後は国内外問わず膨大な選択肢がありました。今でも、いろいろな方に会う取材現場でその柔軟性は役立っています。

就職時期を考え留学を躊躇する方もおられるようですが、一度海外に出て、あらためて考えてみるのも良いと思います。日本でかたくなに信じていたものが、海外に出ると、とてもつまらなく感じることもありますし、今の日本で評価されなくても、海外で評価されることもたくさんありますよ。女性は特にそうです。お茶大は交換留学や語学研修など様々な留学プログラムがあり、しかも年々充実しているとお聞きましたので、ぜひチャレンジしてほしいですね。



【その1】

語学力を武器に世界へ 発信力を強化する外国語カリキュラム

今日のグローバル社会では、価値観や文化の異なる人々に対して、自らコミュニケーションの第一歩を踏み出すことが求められています。「聴く・理解する」から「話す・書く」へ。本学の語学教育は、発信力を重視した内容にリニューアルします。



特別科目群「ACTプログラム」を新設

英語発信力強化のための ACTプログラム (Advanced Communication Training Program) を新たに導入。在学中に留学を目指す方、国際機関や外資系企業への就職を目指す方には、受講することを特にお勧めします。

+αの語学力を身に付ける

学問やビジネスの急速なグローバル化にともない、英語以外の語学力を高めておく必要があります。ドイツ語、フランス語、中国語などの言語を身に付けるためのカリキュラムも用意しています。

海外大学との国際合同授業

テレビ会議システムなどによるMMCC (多言語・多文化サイバーコンソーシアム) により、海外大学との国際合同授業やゼミなどを実施します。多言語化のもとでアカデミック・スキルの強化もはかります。

「学修支援情報システム」を導入

外国語科目のシラバスやこれまでの履修状況などを自分で確認し、最適な学修計画を立てることができる「学修支援情報システム」を導入します。



学生個々に提供するアカデミック・プランニング・シミュレータ

【その2】

入学から卒業までの体系的な語学プログラム 少人数による習熟度別クラス編成と eラーニング・システム

TOEFL ITP テストの実施

入学後に英語のプレースメント・テストを実施し、習熟度別に少人数のクラスを編成します。さらに、1年次終了時だけでなく2年次以上の学生もTOEFL ITPテストを受験し、4年間を通して継続的に英語力の進捗を確認することができます。

各種検定試験の無料化

本学が指定するTOEFL ITPテストおよび、中国語、フランス語、ドイツ語などの各種検定試験は、原則として無料で受験することができます。

充実した自習環境

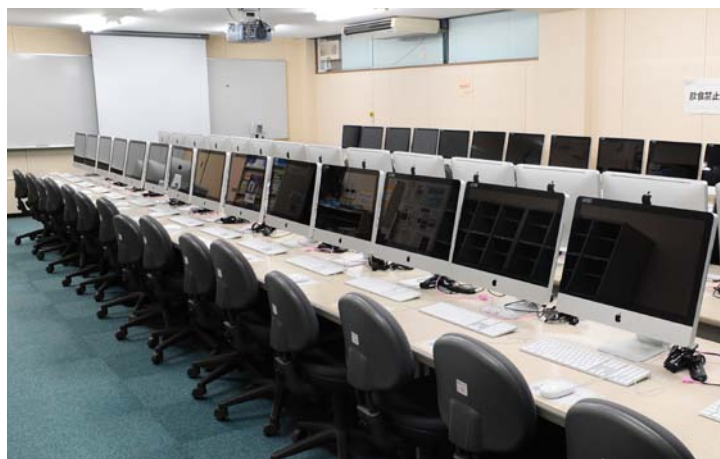
語学の自習を支援する「外国語自律学習支援システム」を2013年度に導入する予定です。国際的な発信力を強化することを目的として、実践的な外国語スキルの育成、情報社会における国際コミュニケーション能力の強化、海外留学などに広く役立つ語学習得のための自律学習システムです。

英作文を自動で評価・添削

「英作文自動評価添削システム」(Criterion)を全学的に導入。英文を作成して送信すると、自動採点してフィードバックされます。英作文を自分自身で評価できるようになるため、自習効果が高まります。

ネイティブ・スピーカーによるサポート

「全学英語支援デスク」を設置し、ネイティブ・スピーカーが英語論文の作成指導を個別にサポートします。



【その3】

交換留学、短期語学研修、私費留学etc. 海外留学で地球規模の視野を身に付けよう

海外留学と一口にいっても、様々な方法があります。自分の動機や目的を明確にして、それに適した留学を在学中にぜひ体験してください。



交換留学

交換留学は大学間交流協定を結んでいる海外の大学への留学プログラムです。期間は半年～1年間。原則、派遣先大学の授業料は免除され、単位が認定されます（一部、例外があります）。

短期語学研修

語学研修を目的とした短期留学プログラムです。期間は2週間～2か月程度なので、気軽に参加できる海外留学といえるでしょう。年度によってプログラムは異なりますが、近年は春期のオーストラリア・モナシュ大学、ニュージーランド・オタゴ大学、夏期のイギリス・マンチェスター大学を中心に実施しています。

私費留学

本学の協定校以外の大学に留学する場合は、自分で留学先を探す「私費留学」になります。授業料が原則として自己負担となる、休学が必要になるなど注意が必要ですが、自分自身の留学プランを実現することができます。

サマースクール(サマーコース)

本学の協定校では交換留学のほかに、サマースクール（サマーコース）を実施しているケースがあります。開催時期やプログラムの内容については、各協定校のホームページで確認するか、本学の「グローバル教育センター」にお問い合わせください。

インターンシップ、ボランティア

海外の企業で就業体験するインターンシップや、開発途上国などでのボランティアのチャンスもあります。いずれも主催者によって参加条件などが異なるので、費用や受け入れ体制などをしっかりチェックしてください。



【その3】

交換留学、短期語学研修、私費留学 etc. お茶大の「交換留学」制度

お茶大の「交換留学」制度

本学の学生を派遣することができる海外の協定大学は、23 개국、50 大学にのびります（2013 年 3 月現在）。さらに協定大学の増加を進めているので、留学のチャンスはますます広がります。

・派遣期間と費用

交換留学期間は、半年または 1 年が基本です。派遣先の大学の授業料などは原則として免除されます。また、派遣者選考時の成績上位者には、「お茶の水女子大学国際交流事業基金海外留学奨学金」や、日本学生支援機構などの奨学金が支給されます。

・校内選考基準

交換留学で派遣されるには校内選考に合格しなければなりません。ここでは学業成績、外国語能力などについて選考委員が書類・面接などで審査します。特に外国語能力に関しては、留学先で講義や研究指導を受けるのに必要な語学力に加えて、TOEFL などの基準スコアを指定する協定大学もあります。

・交換留学のスケジュール

欧米の大学は 9 月から新学期がスタートしますが、そのための校内選考は前年の 11~12 月に行われます。例えば、2 年次後期からの留学を想定すると、その選考は 1 年次の秋に実施されるため、入学直後から準備を始める必要があります。

・単位互換

派遣先の大学で修得した単位は、帰国後に申請すると最大 12 単位まで本学の単位として認められます。



留学のタイプ	交換留学	短期語学研修	私費留学	インターンシップ ボランティア
留学期間	1 年または半期	4 ~ 6 週間	自由（一般的に 1 年未満）	ケースバイケース
地域	23 개국 50 大学	イギリス、オーストラリア、 ニュージーランド	世界各国	世界各国
授業料	お茶大への授業料は支払う	全額自己負担	全額自己負担	なし (経費自己負担などの場合もあり)
奨学金	あり	一部助成される可能性あり	日本学生支援機構、 民間団体など	なし
単位認定	あり（一部例外あり）	あり	なし（一部例外あり）	なし

【その4】

国際的な「武者修行」の機会も豊富にある！ 多彩な交流チャンスを利用して コミュニケーション能力を磨こう

これからのグローバル女性リーダーには、外国語での高度なコミュニケーション能力も不可欠です。本学ではすでに紹介した「交換留学」だけでなく、外国人との交流を通じて実践的なコミュニケーション能力を磨くことができる多彩なプログラムやメニューが用意されています。

サマープログラム

本学のキャンパスに海外協定校からの留学生を招いて実施する英語による集中講義です。複数のテーマを設定して、それぞれの専門教員によるレクチャーの後、外国人留学生を交えた活発なディスカッションを行います。

スタディ・ツアー

先進国および開発途上国に赴き、現地調査を行ったり、そこに住む人々や日本人ボランティアとの交流をはかります。これまでに東ティモールやベトナム、フィリピンなどで実施しました。

国際セミナー、シンポジウム

海外の協定校との合同セミナーや、学部ごとに参加するシンポジウムなども多彩に実施。研究発表やワークショップなどに積極的に参加することで、国際感覚や度胸も身に付きます。

Global Research Exchange Ochanomizu University (GREAT - Ocha) セミナー開催

本学と海外の女子大学の学部生が、卒業論文研究を英語で発表します。ネットワーキングセッションを設けて、海外の女子大生とのネットワークをつくることができます。



【サポート体制】

大学が強力にバックアップ 語学は「外国語教育センター」、 留学は「グローバル教育センター」

本学が目指す「グローバル女性リーダー」育成構想では、グローバル人材育成推進センターが中心となり、「外国語教育センター」と「グローバル教育センター」が直接的に学生をサポートします。

外国語教育センター

学生の語学力の向上を目的として、カリキュラムの構築や改善から、コア段階での外国語教育、マルチメディア語学ラボ (MMLL) や新設のeラーニング・プラザなどの運営も担当。いわば、語学のことなら何でもお任せという専門的なセンターです。

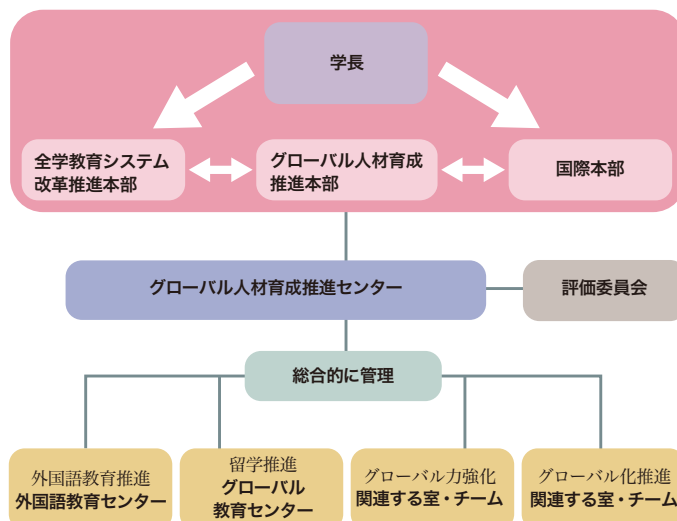
グローバル教育センター

グローバル教育センターは、海外から受け入れた外国人留学生に対する修学および生活に必要な教育・指導助言、国内外における様々な国際交流の推進、お茶大生の海外への派遣を担当する専門的なセンターです。

留学を思い立ったらグローバル教育センターへ！

グローバル教育センターでは、交換留学と短期語学研修を中心に海外留学をバックアップ。派遣が決定した学生に対しても、必要な留学準備や危機管理の心構えなどを学ぶ機会も提供しています。海外留学に少しでも興味を持ったら、すぐにでもグローバル教育センターを利用して情報収集を行い、どんなことでも気軽に相談してください。

グローバル人材育成推進体制





お茶の水女子大学
Ochanomizu University